

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会法人 カナンの園 多機能型事業所ゆいまある（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日 ～ 2024年12月20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2024年12月1日 ～ 2024年12月20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月4日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・事業所の部屋数が多い。奥中山学園のプレイルーム、作業棟を活動場所として使用している。	・静かに過ごしたい、眠りたいなどの様子に合わせ個室を用意している。 ・個々にやりたい事、友達と一緒にやりたい事などの希望に応じ、事業所内の部屋や奥中山学園のプレイルーム、作業棟での遊び、敷地内の外遊びなどをおこなっている。	・よりリラックスして過ごせるようにクッションやソファを用意する。 ・個々に合わせた心地よい感覚を得られるグッズ（ひんやりグッズ、風船など）を準備する。
2	・子どもが「〇〇したい。」「〇〇で遊びたい。」など自発的に伝えてくれたことを尊重し、実行できるように支援している。	・自分の身の回りの事やお手伝いが終わった後は、子どもが楽しみにしている、遊びや活動ができるように時間を取っている。	・子どもの意見を聞きながら、遊びや活動の充実を図る。
3	・子ども向けの公共の遊び場が事業所の近くにある。	・公園や子どもの森、葛巻高原など子どもが遊べる施設が車で20分位の所にあるため、長期休みや土曜日など外出し楽しんでいる。	・今後も子どもの楽しみにつながるように活動を企画する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・父母会活動や保護者交流、きょうだい同士の交流の機会が無い。	・保護者やきょうだい同士の交流の企画に向けた取り組みを行ってこなかった。 ・コロナ禍の影響を受け施設を開放した行事などが行われなかった。	・今年度、るんだるんだ祭りを開催し、保護者、きょうだいの方々にも来ていただいた。るんだるんだ祭りの継続と共に当事業所利用の方を対象とした交流や情報交換の場、子ども同士が遊ぶ機会等を作っていく。
2	・情報発信が少ない。	・日々の様子は家庭連絡帳を通じてのやり取りが主になっている。	・子ども達の様子を写真などで具体的に知って頂けるように工夫をする。
3	・		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型事業所ゆいまある（放課後等デイサービス）

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 17

回収数 15

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9	3	1	2	・土曜日でも利用できると助かります。 ・内部の事はわからないが不安無く利用させてもらっている。	人数的には適切ですが子どもの状態等から考えると不足している所もあります。今後、職員の増員、確保を目指します。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	2				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1				
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	1		2		支援プログラムは、今後公表されます。その際は、ホームページに公表されると共にプリントでお渡しします。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1		1	・長期休みは子ども達が楽しみな活動を取り入れて下さり、工夫されていると思います。	今後も、活動の固定化、マンネリ化しないように工夫していきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1	3	5		なかなか交流するタイミングなどはない状況にありますが、長期休みなどに交流できないか検討していきます。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	1		4		まずは、職員がティーチャーズトレーニングを受けて、ペアレントトレーニング等の支援ができるように研修していきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14			1		日頃の連絡ノートや口頭でのやりとり、定期的な面談を活用して共通理解に努力していきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15					
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	2	3	6	・るんだまつりがそうだと思います。 ・ぜひ、お願いします。	今年度から5年ぶりに「るんだるんだ祭り」が再開されました。感染症対策を行い、次年度も開催を目指したいと思います。	
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	1		5		カナンの園のホームページに自己評価については毎年、アップしていますが、周知が弱い面もあるので、周知していきます。活動概要については、法人の機関誌に掲載するようにしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1		2		契約時に各種マニュアルをお渡しし説明していますが、分かりやすい説明に努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11			4		避難訓練や消火訓練、通報訓練は年に2回実施しています。その他に防犯訓練や感染症対応訓練など実施していきたいと思っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14			1		毎年作成される活動計画の安全・防災の計画に沿って活動しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14			1		迅速な対応と連絡に努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	1				楽しい、行きたいと思ってもらえるよう努力していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	1				楽しい、行きたいと思ってもらえるよう努力していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	2	1		・平日の利用時間が17：30位まで利用できるという事です。 ・通所できる日が増えれば良いと思っています。	なるべく、ご家族の希望に応えるよう努力していますが、職員の人数や勤務時間の関係で、利用日数や預かり時間に応えられない事もあります。職員募集を強化してスタッフを増員して希望に応えられるよう努力していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型事業所ゆいまゐる（放課後等デイサービス）			公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・交流棟、作業棟、在宅支援等など適切なスペースがあり、子どもの様子や活動に応じて利用している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・基準の配置は適切にされているが更に配置を目指したい。	個々の支援を充実させるためさらに増員していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3	・棚を工夫し危険が無いように玩具や絵本を置いたり、安全のため玄関にフザーを付けるなど工夫をしている。 ・バリアフリーになっている。 ・部屋数が多く子どもの様子が視界から見えなくなることもある。子どもがどこで過ごしているか職員間で確認している。	小さい子向けのトレイがあるとよい。 Wi-Fiなど検討が必要です。 情報の伝達を視覚提示で伝えるなどより配慮が必要です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	・毎日、清掃している。 ・個室等に部屋が区切れる為、必要に応じた使い方ができる。	感覚過敏のある子には音の遮断などができるように環境整備が必要です。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・個室など配慮している。 ・特性に応じて過ごす部屋の移動など配慮されている。 ・着替え、静かに過ごしたい、眠りたいなど個々の必要に応じて個別の部屋や場所が利用できる。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	・定期的に話し合いを重ねている。活動計画、年度のまとめの作成をしている。 ・長期休みの活動について振り返りの時間を設けている。	職員全体で話し合い、PDCAサイクルを意識して活動していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・保護者向け評価表を実施し、意向等を把握し業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・打合せや支援計画、年度のまとめ等の振り返りの際に意見を把握し業務改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		第三者評価は実施していないので、今後、法人として検討が必要です。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・事業所、支援部、法人、外部研修の機会を作っている。 ・オンライン研修や法人などで研修の機会を設けている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	2	・プログラム作成し公表予定である。	法人のホームページにプログラムを公表し、プリントでもお配りする予定です。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・5領域を意識して実施している。 ・個票によるアセスメントをおこない職員間で検討し作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・担当職員で計画について話し合う時間を設け、検討している。	最善の利益を考慮して、意思形成支援、意思表示支援、意思決定支援も重視しています。

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・計画を記録ファイルに綴り共有し、意識して実施している。	今年度より、5領域に対応した支援計画の様式に変更しました。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	・個票を用いたアセスメントを行っている。	フォーマルだけでなく、インフォーマルなアセスメントも行うように努めます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・それぞれの支援を意識して支援プログラムを作成している。 ・ガイドラインを職員に配布し、計画作成にあつたっている。	ガイドラインの研修は、今後も継続して実施していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	・チームで話し合い役割分担をし実施している。 ・特に長期休みの活動では職員で話し合い立案している。	ゆいまあるの職員チームはもとより、入所施設のチームの職員の意見も取り入れて検討していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	・子どもの希望や季節に応じた活動を設けられるよう工夫している。	活動の固定化やマンネリ化にならないように工夫していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・個別と集団活動を組み合わせて作成し支援をしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・午前中に打ち合わせを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		6	・帰りの送迎があるため、支援の振り返りは翌日におこなっている。 ・明日の欠席者の確認、連絡事項等を共有している。	勤務時間の都合上、翌日、行っています。次の日の打合せでおこなっています。必要があれば支援終了後に行っていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・毎日、記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・6ヶ月ごとにモニタリングを実施している。	
関係機関や保護	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		・未記入1 ・4つの基本活動を意識して組み合わせている。	4つの基本活動をこれからも意識していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・自己決定を支援をおこなっている。 ・自分で選ぶ、自分で決める、自分の気持ちを伝えることを個々に応じて支援している。	意思形成支援、意思表出支援、意思決定支援を重視し育ていけるように支援していきます。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・児童発達支援管理責任者を中心に参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・未記入1 ・自立支援幼少期部会をはじめ、市町村担当者とも連携している。 ・必要に応じ医療機関とも連携している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・関係学校と密接に情報共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		・相互理解に努めている。 ・保育所訪問で情報共有を行ったり、支援者会議で把握している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	・必要に応じて家族の承諾を得て情報提供している。	保護者の同意を得たうえで、情報提供していきます。

者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	・未記入1 ・地域に児発センターはないが県の発達障がい者支援センターにアドバイスをもらう機会をつくっている。	岩手県療育センターから助言をうけていますが、更に連携できる機関がないか検討していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	3	3	・放デイでは設定していないが、るんだるんだまつり、作業棟の地域開放を通し、地域の子どもたちとの交流の機会を設けている。	なかなか交流するタイミングなどはつくれない状況にありますが、長期休みなどに交流できないか検討していきます。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	・管理者、児発管が委員となり参加している。	二戸地域自立支援協議会幼少期部会に参画しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・送迎時など口頭で情報共有している。 ・家庭連絡帳や電話などで共通理解を図っている。	日頃の連絡ノートや口頭でのやりとり、定期的な面談を活用して共通理解に努力してまいります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	・法人研修などの案内を行っている。	まずは、職員がティーチャーズトレーニングを受けて、ペアレントトレーニング等の支援ができるように研修していきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・意向確認を行っている。 ・支援計画作成時に面談を行い把握している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		・説明し同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・必要に応じ面談をおこなうかがっている。	定期的な面談以外にも、随時相談を受け付けるようにします。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	5	・保デイでは保護者会活動はしていないが、法人保護者研修会の案内はおこなっている。	ゆいまある独自の父母の会は組織していませんが、カナンの園の保護者会研修会などのご案内はさせていただいています。その他、研修など積極のご案内させていただきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	・苦情解決の仕組みに乗せて実施している。	カナンの園苦情解決事業実施要領に則って対応しています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1	・法人機関誌を発信している。 ・長期休みの活動のお知らせを発信している。	定期的に法人の機関誌を発行しています。ホームページにも情報を掲載しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・留意している。	カナンの園個人情報保護規程に則って対応しています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・電話やメールなどのツールも活用している。 ・写真や絵カード、ジェスチャーなどで伝えている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		・普段、発達支援を行っている場所を地域に向けて開放している。 るんだるんだまつり、節分などで地域との交流を図っている。	るんだるんだでの地域への施設開放やお祭りで地域の方を招いています。今後も実施していきます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・未記入1 ・各マニュアルを整備し、家庭に配布している。	防犯訓練は今後検討が必要です。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・今年度、作成し研修を行った。	PCPについては、今年度作成しました。継続的に研修を行い訓練を実施していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・利用開始時に健康シートに記入して頂き把握している。	

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	・未記入1 ・アレルギーのある子はいない。 ・食事配慮が必要な場合は栄養士と連携し実施している。	アレルギーがある場合は、看護師や栄養士と連携して対応していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	2	・未記入1 ・活動計画を作成し、避難訓練等、定期的実施している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	3	・未記入1	防災マニュアルについては、契約時にお渡ししていますが、継続的な周知にはなっていないので避難訓練の様子などをお伝えしていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・都度、報告書を作成し共有している。	月毎にヒヤリハット報告書を作成して、長副会議や理事会に報告し再発防止に努めています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・虐待アンケートを基に話し合いを行い、委員会に報告している。	虐待防止研修やチェックリストの確認、結果を踏まえてのグループワークを実施しています。今後も虐待防止に努めます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		・身体拘束がある場合に実施している。 ・個々の状況に応じ、支援計画にて了承を得ている。	やむを得ず身体拘束を行う場合同意書を作成し、具体的な方法を説明し個別支援計画に記載しています。カナンの子園の人権倫理委員会(虐待防止委員会)にも報告しています。